

生き生き消防団

中学生との交流事業「スクラムハート」

兵庫県多可町

多可町は兵庫県の内陸部に位置し、周囲を中国山地の山々に囲まれた多自然居住の町です。気候は、瀬戸内気候の影響を受けて穏やかですが、町の北部一帯は内陸性気候の影響を大きく受け、かなり寒暖の差があります。

多可町消防団では、急激な社会変化による地域住民の連帯感や人間関係の希薄化が進むなか、地域内の顔見知り活動を展開しようと、中学生と消防団が消防活動などを通して地域コミュニティの再生を図る「スクラムハート」事業を多可町教育委員会に協力して、平成19年

から実施しています。

「スクラムハート」とは、地域の人々が肩や腕を組み合って心をはっきり固めることを意味し、活動の目的は、中学生が自分の住んでいる地域での消防活動の体験などを通して地域住民の皆さんとの人間関係を深め、郷土を愛し、ともに支え合う地域づくりに努めるとともに、地域防災の要となる人材育成にも寄与しようとするものです。

活動内容については、各集落の消防団により多少異なりますが、基本的には集落内の消火栓・



ミーティング

ため池・河川等消防水利の確認、消火栓・消防機械器具等の点検や使用方法の説明、放水訓練、消防団活動・防災体験の講話などを実施しています。

ポンプ操作では初めに団員から説明を受けたものの、いざ放水となると緊張のあまり顔がこわばり団員に手助けしてもらおう生徒もいました。

参加した生徒は「消防団の皆さんの苦勞がよく分かりました。今後は、自分でも何か手伝えることがないか考えてみたいと思います。」「名前を知っている団員さんもいれば、知らない団員さんもいる。団員さんが身近な存在となりました。今後もこの活動を通して、顔見知りにな

っていくことは非常に良いことだと思います。」などと語っています。

また、この活動は多可町内の全中学生を対象としており、女子生徒も消防団活動を体験しています。

活動の最後に生徒を代表して男子生徒（中学三年生）からは、お礼の言葉とともに「大きくなったら消防団に入りたい。」と心強いあいさつもありました。

この事業を通して消防団活動に対する理解を深めることはもちろんですが、参加した生徒のボランティア精神を育み、地域への愛着や所属意識を高め、ふるさと多可町を愛する生徒の育成を図っていきたいと考えています。



整備中



放水訓練



消火栓の点検



消火栓ボックスの説明